

## 防災の心得 — 地震編 —



東日本大震災発生時の行方市内の土砂崩れ現場

### 定期的に取り出し品をチェック

万一の災害には、日頃の準備が大切です。非常持ち出し品を用意して、中身を定期的に点検しましょう。日付と共にチェック制!

<b>懐中電灯</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<b>飲料水</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<b>非常食</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<b>携帯ラジオ・予備電池</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<b>タオル・毛布</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<b>衣類・下着類</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<b>救急セット</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<b>貴重品</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<b>ロープ</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※ 避難時の用品説明

ヘルメット等の頭部保護具  
 持ち出し品はスリッパやサンダル  
 避難用靴は履き慣れたもの  
 ヘルメットは必ず着用  
 ヘルメットは必ず着用  
 ヘルメットは必ず着用

※ 必要に応じて準備しましょう

<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※ 乳幼児がいる家庭  
 ※ 妊婦がいる家庭  
 ※ 要介護者がいる家庭

東日本大震災発生から、今日11日で4年が経過します。東日本大震災の発生を受け、市内全域で震度6弱を記録した本市においても多くの被害が生じました。生活に密接する建物（住家）被害のみを捉えてみても、約3,500棟が何らかの被害が生じ、特に全・半壊程度という大きな被害の建物は約1,000棟という状況でした。

このように、災害が一度発生すると、さまざまな大きな被害が生じてしまいます。地震や台風などの発生を防ぐことはできませんが、市民の生命・財産を守るために、防災・減災に対する取り組みがさまざまな角度から必要となっております。本市において特に注意すべき災害は、地震災害・風水害（台風）・土砂災害の3災害と考えています。

市民の皆さまに、平素から防災の心得を再確認いただくため、市では、ハザードマップを作成し、近日中に配布する予定です。今月号では、地震災害への備えとしまして、ハザードマップの一部を紹介いたします。

### 震度階級関連解説表

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況	木造建築物(住宅)の状況	鉄筋コンクリート建物の状況	建造物外	地盤・地層の状況	ライフライン/インフラ等への影響
0	人は揺れを感じないが、地震計に記録される。							ガス供給の停止
1	揺れを感じ、10秒以内は含み揺れを感じる人がいる。							ガス供給の停止
2	室内で寝かしている人の大半が、揺れを感じる。寝かしている人の中には目を覚ます人もいる。	電気がおのりのり下り物が、わずかに揺れる。						ガス供給の停止
3	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。ほとんどの人が目を覚ます。	電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。	電線が少し揺れる。					ガス供給の停止
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。寝かしている人のほとんどが目覚める。	電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。	電線が大きく揺れる。自動車を運転している人が、揺れに気付く人がいる。					ガス供給の停止
5弱	大半の人が、恐怖を感じる。物にぶつかると感じる。	電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。	表に窓ガラスが割れて落ちることがある。扇風機が揺れるのわかる。道路で被害が生じることがある。	壁などに電線が揺れ、電線が入るものがある。			電線が揺れ、電線が入るものがある。	ガス供給の停止
5強	大半の人が、驚く。物にぶつかると感じる。物にぶつかると感じる。	電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。電気がおのりのり下り物が、明らかに揺れる。	表に窓ガラスが割れて落ちることがある。扇風機が揺れて倒れることがある。道路で被害が生じることがある。	壁などに電線が揺れ、電線が入るものがある。			電線が揺れ、電線が入るものがある。	ガス供給の停止
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが閉かかるとなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損。落下することがある。	壁などに電線が揺れ、電線が入るものがある。			電線が揺れ、電線が入るものがある。	ガス供給の停止
6強	立っていることができません。歩かなくなり、歩くことができない。揺れに慣らされ、歩くことができず、倒れることがある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	壁のタイルや窓ガラスが破損。落下する建物の多いものがある。道路で被害が生じることがある。	壁などに電線が揺れ、電線が入るものがある。			電線が揺れ、電線が入るものがある。	ガス供給の停止
7	立っていることができません。歩かなくなり、歩くことができません。揺れに慣らされ、歩くことができません。倒れることがある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	壁のタイルや窓ガラスが破損。落下する建物の多いものがある。道路で被害が生じることがある。	壁などに電線が揺れ、電線が入るものがある。			電線が揺れ、電線が入るものがある。	ガス供給の停止

## 避難時の心得

**1 最新情報を入手**

テレビやラジオ、新聞などで最新の情報を入手し、避難の準備をします。

**2 呼びかけに注意**

避難の呼びかけや、避難場所の案内などに注意し、指示に従います。

**3 避難場所を決定**

避難場所や避難経路を事前に確認し、避難の際は指示された場所へ避難します。

**4 2人以上で避難**

避難の際は、必ず2人以上で行動し、お互いに気をつけて避難します。

**5 助け合って避難を**

高齢者や障害者など、避難が難しい人は、周囲の人に助けを求め、一緒に避難します。

**6 安全な避難**

避難の際は、エレベーターや階段など、安全な経路を選び、避難します。

**7 避難は徒歩で**

避難の際は、必ず徒歩で避難し、車やバイクなどを利用してはなりません。

**8 空気に当たらない**

避難の際は、埃や煙などに当たらないよう、ハンカチやタオルなどで顔を覆います。

### ▶ 主な気象警報などの種類やみなさまの行動例

	気象警報などの種類						みなさまの行動例
	大雨		暴風	高潮	津波	豪雪	
地域警報 (大雨・暴風・高潮・津波・豪雪)	大雨 特別警報 (大雨)	大雨 特別警報 (暴風)	暴風 特別警報	高潮 特別警報	津波 特別警報	豪雪 特別警報	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨・暴風・高潮・津波・豪雪の発生が予想される場合は、事前に避難場所を確認し、避難の準備をします。</li> <li>警報発令後は、指示された避難場所へ避難し、安全な避難を行います。</li> <li>避難の際は、必ず2人以上で行動し、お互いに気をつけて避難します。</li> <li>避難後は、指示された避難場所から元の場所へ帰るまで、指示に従って行動します。</li> </ul>
警報 (大雨・暴風・高潮・津波・豪雪)	大雨 警報 (大雨)	大雨 警報 (暴風)	暴風 警報	高潮 警報	津波 警報	豪雪 警報	<ul style="list-style-type: none"> <li>警報発令後は、指示された避難場所へ避難し、安全な避難を行います。</li> <li>避難の際は、必ず2人以上で行動し、お互いに気をつけて避難します。</li> <li>避難後は、指示された避難場所から元の場所へ帰るまで、指示に従って行動します。</li> </ul>
注意報 (大雨・暴風・高潮・津波・豪雪)	大雨 注意報	暴風 注意報	高潮 注意報	津波 注意報	豪雪 注意報		<ul style="list-style-type: none"> <li>注意報発令後は、指示された避難場所へ避難し、安全な避難を行います。</li> <li>避難の際は、必ず2人以上で行動し、お互いに気をつけて避難します。</li> <li>避難後は、指示された避難場所から元の場所へ帰るまで、指示に従って行動します。</li> </ul>

### ▶ 避難所生活を送るときは

避難所生活を送るときは、互いに助け合い、協力し合える仲間を多く見つけることが大切です。また、避難所生活を送るときは、避難所生活のルールを守り、安全な避難所生活を送ることが大切です。

**共同生活**

- 避難所生活のルールを守り、安全な避難所生活を送ります。
- 避難所生活のルールを守り、安全な避難所生活を送ります。

**肌着履に気をつけて**

- 避難所生活では、肌着履に気をつけて、清潔な肌着履を着用します。
- 避難所生活では、肌着履に気をつけて、清潔な肌着履を着用します。

**生活は機能的に**

- 避難所生活では、生活は機能的に、必要なものを準備します。
- 避難所生活では、生活は機能的に、必要なものを準備します。

**野菜畑やブライパシーへの配慮**

- 避難所生活では、野菜畑やブライパシーへの配慮をします。
- 避難所生活では、野菜畑やブライパシーへの配慮をします。

## 地域ぐるみで自主防災組織を作ろう

自治会、町内会などの組織と連携し、地域ぐるみで自主防災組織を作ります。地域ぐるみで自主防災組織を作ると、災害発生時の対応がスムーズになります。

### ▶ 自主防災組織の作り方

- すでにある組織を活用する場合**  
自治会や町内会などの組織と連携し、自主防災組織を作ります。
- 新しく組織をつくる場合**  
地域ぐるみで自主防災組織を作ります。
- その他**  
自治会や町内会などの組織と連携し、自主防災組織を作ります。



## 地震に備える

### ▶ 地震発生時の行動チャート

**地震発生**

緊急地震速報

揺れ発生

**1~2分**

- 火元を確認し、火災していない場合は避難所へ避難する。
- エレベーターは利用しない。
- エレベーターは利用しない。

**3分**

- 揺れが収まったら、避難所へ避難する。
- 避難所へ避難する。

**5~10分**

- ラジオなどで正しい情報を受け取る。
- ラジオなどで正しい情報を受け取る。

**10分~**

- 消火活動に参加する。
- 消火活動に参加する。

**~3日**

- 被災した家には入らない。
- 被災した家には入らない。

**避難生活**

- 避難生活のルールを守る。
- 避難生活のルールを守る。

行方市が避難勧告等を発令した場合は、携帯電話をお持ちの方（NTTドコモ・au・ソフトバンク）に、緊急速報メールでお知らせします。行方市が配信する緊急速報メールは、市外地域で受信することができます。ただし、市のメールマガジンを登録している方は、市外でも受信することができます。

問 秘書課（麻生庁舎）  
☎ 0299-72-0811

### ▶ 防災情報の伝達経路

防災情報は、各機関から下のような経路で伝達されます。市民の皆さんは、防災行政無線・テレビ・インターネットなどを活用して情報収集に努めましょう。また、避難先でもこれらの情報が受け取られるように備えましょう。

